

## 第1回テストを終えて

7/1(月)~7/2(火)の2日間で第1回テストを実施しました。結果(各教科の点数・全教科の合計点数等)はどうだったでしょうか? また、その結果に至るまでの過程(授業中の取組・家庭学習の時間・提出物等=学びに向かう姿勢)はどうだったでしょうか? 夏休み明けの実力テストで大変な目に合わないよう、第1回テストの結果やそれまでの過程について、生活ノート等を見て振り返りをしてほしいと思います。

では、テストが返却された時やテスト成績表が渡された時に、どのような見方が大切なのか、次の例をもとに考えていきましょう。 ※あくまで参考例です。(最後の補足にも記載。)

**Q1：下表は、Aさんのテストの結果です。Aさんの最も良かった教科は何だと思えますか?**

①国語 ②社会 ③数学 ④理科 ⑤英語 ⑥分からない

教科	国語	社会	数学	理科	英語	合計
得点	60	45	65	50	55	275

Aさんの得点を見ると、数学の得点が一番高いので、「③数学」だと思える人が多くいらっしゃるのではないのでしょうか。実際に、生徒もテストが返却された時、得点を見て一喜一憂し、特に点数が取れなかった教科(この場合は社会)は時間をかけて復習に励んでいると思います。ただ、ここで注意してほしいのは、自分の得点のみでは、このテストの難易度がどの程度のものなのか、判断ができないということです。言い換えれば、自分の本当の実力はどれくらいなのかをきちんと把握できていないということにもなると思います。つまり、Q1の問いに対する答えは、この場合だと「⑥分からない」が最も適切な解答ではないかと考えることができます。

では、本当の意味で、Aさんの最も良かった教科は何なのか、Q2を見て、考えてみましょう。

**Q2：下表も参考に考えたとき、Aさんの最も良かった教科は何だと思えますか?**

①国語 ②社会 ③数学 ④理科 ⑤英語 ⑥分からない

教科	国語	社会	数学	理科	英語	合計
平均点	65	55	60	50	45	275

ここでは、自分の得点だけではなく、平均点も確認できるようになっています。そうすれば、平均点よりも上なのか下なのか、平均点とどの程度の差があるのかについて、調べることができます。あくまで一つの目安ですが、何か他の項目と比較することで、自分の本当の実力が少し見えてくるようになります。この場合は、平均点との比較でしたが、中学校のテストでは、学級平均・学年平均も知らせることが多いと思います。今回の第1回テストの成績表が近々渡される予定です。平均点との比較も行い、今後の学習スタイルの改善につなげてほしいと思います。ちなみに、この平均点も考慮すると、英語の得点が平均点よりも10点高いため、問いに対する答えは「⑤英語」が最も適切な解答となります。

**補足** 各教科の平均点は、テストの難易度等によって左右されることもご承知おきください。あくまで、参考例の一つとして、テスト成績表等で確認していただけたらと思います。